

明治初期の岡垣の物産②

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

前回は、「福岡県地理全誌」に掲載されている明治初期における岡垣の物産の概要を述べた。今回は、岡垣の東部地区の各村の物産を見ていくこととする。

主要農産物である米、麦、大豆、小豆、豌豆、蕎麦は全ての村で栽培されていた。主要農産物以外の各村の物産は次のとおりである。(村名の後の括弧は、農産物の数と出荷の品目数及び販売総計額である。丸数字は出荷販売金額の多い物産の順である。)

●糠塚村(20・24 1508円3銭)



▲煙草(農業小学 上から援用)

薪の出荷が多いことや蜂蜜、松茸を出荷していることが特色である。農産物は、唐豆、粟、胡麻、綿、茶、煙草、紅花、鶏、鶏卵、蜂蜜があった。また、鶏卵、蜂蜜、榲桲、菜種、松茸、薪を出荷していた。

榲桲から抽出した生蠟を多く出荷していた。琉球芋は糠塚村のみが出荷していた。また、燃料としての松葉を出荷していた。農産物は、小黍、唐豆、大角豆、粟、琉球芋、胡麻、大根、柑類、梅、柿、綿、茶、煙草、紅花、鶏、鶏卵があった。また、麦、大豆、生蠟、榲桲、蠟燭、酒、松葉、半紙、塵紙、菜種等を出荷していた。出荷販売総計額は岡垣で2番目に多く、経済的に豊かな村であったことが分かる。

①生蠟②酒③種油④榲桲⑤蠟燭
●山田村(16・6 127円13銭)

①薪②蜂蜜③榲桲④鶏卵⑤松茸
●黒山村(15・8 100円38銭)
食用きのこの松露や落松葉を出荷していた。松露は岡垣では手野村でも出荷していたが黒山村の方が出荷は遥かに多かった。農産物は、唐豆、大角豆、粟、綿、茶、煙草、鶏、鶏卵、家鴨があった。また、鶏卵、榲桲、菜種、松茸、松露、薪、蜂蜜、落松葉を出荷していた。

①菜種②榲桲③薪④松露
●野間村(13・9 91円18銭)

石炭を出荷していたが、出荷量は戸切村の方が多かった。農産物は、粟、綿、柿、茶、煙草、鶏、鶏卵があった。また、粟、柿、鶏卵、榲桲、菜種、松茸、楊梅、薪、石炭を出荷していた。

①榲桲②薪③石炭④鶏卵⑤松茸
●高倉村(21・14 1301円47銭)

榲桲や和紙の原料となる楮皮の出荷は岡垣で一番多かった。農産物は、唐豆、粟、蜜柑、梅、柿、綿、茶、煙草、紅花、鶏、鶏卵、牛蒡、楊梅、桃、栗があった。また、粟、煙草、茶、楊梅、柿、梅、楮皮、半紙、塵紙、生蠟、種油、鶏卵、榲桲、菜種を出荷していた。出荷販売総額は岡垣で3番目に多かった。

①半紙②榲桲③生蠟④塵紙

●上畑村(21・9 885円21銭)

生蠟の出荷は、糠塚村、海老津村と並んで多かった。農産物は、唐豆、粟、琉球芋、柑類、梅、柿、里芋、黍、桃、栗、綿、茶、煙草、鶏、鶏卵があった。また、小豆、里芋、煙草、鶏卵、楮皮、榲桲、菜種、生蠟、薪を出荷していた。

①生蠟②榲桲③鶏卵④薪
●海老津村(14・8 1047円13銭)

生蠟の出荷は岡垣で一番多く、山芋の出荷も多かった。農産物は、粟、胡麻、綿、茶、煙草、紅花、鶏、鶏卵があった。また、鶏卵、山芋、榲桲、楮皮、生蠟、菜種、松茸、薪を出荷していた。

①生蠟②薪③榲桲④山芋⑤種油
●戸切村(17・15 472円94銭)

石炭(石炭)の出荷は岡垣で一番多かった。楊梅は三吉村に次ぐ出荷であった。農産物は、粟、綿、茶、蜜柑、梅、柿、楊梅、栗、鶏、鶏卵があった。また、鶏卵、蜂蜜、菜種、松茸、薪、楊梅、栗、蜜柑、柿、山芋、梅、楮皮、半紙、種油、石炭を出荷していた。

①石炭②種油③菜種④半紙⑤薪
今回は岡垣西部の各村の物産を見ていくこととする。